

ぽらーの花巻

2019
8
No.258

特集

組合員・地域の思いを形に
くらしの活動





8月上旬に1回目のピークを迎えるピーマンの収穫。10月下旬まで収穫が続く



こまめな管理で育てる悠さんのピーマン



ピーマン収穫の合間に行うトマトの定植

Profile

平成29年4月に就農し、祖父・祖母・父・母と5人で暮らす。ピーマンを露地で10a栽培。トマトと水耕栽培のリーフレタスは各2a栽培し、市内の産直や友人が営む県外の飲食店に出荷している。JA遠野地域野菜生産部会の一員でもある。モットーは「自ら楽しんでやる」と「みんなに美味しいと言ってもらえる野菜を作る」。



農
追
い
人

GREEN SOLDIERS

むら 悠
かみ
村 上

遠野市

趣味・マイブーム
帽子の収集

高校生の頃から集め始め、現在も少しずつ買い足しています。デザインがさまざまある所が好きで、気分によって他人と被らないように選んで身に着けています。



ニット帽やキャップ、ハットなど約40枚持っています！

【コーナータイトルの由来】
「GREEN SOLDIERS」は「グリーンソルジャーズ」と読み、「農追い人」と併せ、「農業に夢や希望を持って働く人」という意味を込めています。毎月、若手農業者や新規就農者を紹介します。

農業×最新技術
野菜栽培に「新風」もたらす

最新技術を農業に。多種多様な野菜の栽培が盛んな遠野市で、最新技術を駆使して農業を営む若手が村上悠さんだ。米や野菜、和牛繁殖など幅広く農業を営む農家で生まれ育った悠さん。東京都でアパレル関係の仕事をしていたが、「30歳を機に実家に戻ろう」と考えていた。そんな時、訪ねたファーマーズマーケットで若い生産者が多く、楽しそうに働く姿を目にした。悠さんは「自分にも出来るのではないかと思った。農業に対するイメージが変わり、やる気になった」と転機を振り返る。平成28年に帰郷し、千葉大学で3カ月間研修。そこで出会ったのが、トマトの養液栽培だ。最新技術を農業に活かしており、将来を考えた時に効率的に作業をしたいと、市内で初めてとなる導入を決めた。

就農3年目、JAや同市の重点品目であり補助金を活用して導入したピーマンを夏と秋に、ビニールハウスで栽培するトマトを冬と春の収穫を目指し、周年出荷を模索している。心掛けている事は、こまめに管理をする事。毎日生育を見ながら、適時の作業に気を付けている。そんな努力が功を成し、昨年度は市内でピーマンの「1本当たり収量」で3位の成績を収めた。一生懸命、年中作業に勤しむ悠さん。その原動力は、消費者の「おいしい」の一言だ。「泣きそうになるくらいうれしいし、やる気になる」と話し、続けて「自分で作った野菜を食べられる事も幸せ」と笑みをこぼす。今秋には収入の増加を目指し、需要が多いトマトの栽培規模拡大を予定している。悠さんは「ビニールハウスを活用し、トマトとピーマンを柱に周年出荷を確立したい」と目標を話す。悠さんの先駆的な挑戦は、農業の未来を切り拓いていくだろう。

ちょっと
いい話

むらかみ農園
Murakami Farm

村上悠さんが代表を務める「むらかみ農園」では、インスタグラムを通じて農業や農業生活の情報を発信しています。若手らしい情報発信をぜひ一度ご覧ください！



悠さんの違う一面も見られるかも!?



ネット販売をしようと、現在ホームページを制作中。悠さんが栽培するピーマンやトマト、リーフレタスのほか、両親が育てる旬の野菜も販売予定です。

- 住所 〒028-0663 遠野市附馬牛町下附馬牛17-83
- TEL 080-3543-0170
- E-mail pentel017@gmail.com
- ホームページ <http://murakaminouen.jp>

ぼらーの花巻 CONTENTS

- 02 農追い人 GREEN SOLDIERS
- 04 特集 暮らしの活動

- 08 ぼらーのNEWS ● 地域の話
- 10 あぐりネット
- 12 がんばる青年部 / 変わるJA
- 13 旬の産直大百科 / ぼらーの広場
- 14 Information ● 理事会だより / 監事会だより
- 16 私が先生あなたも先生 ● 編集後記

組合員・地域の思いを形に

くらしの活動

「くらしの活動」とは

組合員や地域住民の日々の暮らしの中には、より良い人生を歩んでいくためのさまざまな願いや願い、多様なニーズがあります。そのような願いを叶え、安心して暮らせる豊かな地域づくりの実現に向けて、仲間とともに創り上げる自主的な活動が「くらしの活動」です。JAでは、皆さまが主体的に取り組みくらしの活動をさまざまな面から積極的にサポートしています。

重要な取り組み

JAは、第4次中期経営計画で「農業」「くらし」「組織・経営」の3分野でそれぞれ基本目標を掲げており、くらしの活動は「地域の活性化へのさらなる貢献」「協同(結びつき)のさらなる強化」に繋がる重要な取り組みとして位置づけています。JAでは、組合員や地域住民がJAに集い、地域を盛り上げていくくらしの活動に積極的に取り組み、豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指します。

JAの活動

組合員や地域住民が明るく楽しい人生を送り、安心して暮らせる豊かな地域社会を実現させるために、JAは安定した農業経営を支援すると同時に、日々の暮らしや生活、地域を守る必要があります。そのために、JAの総合事業があるのです。金融や共済、生活や福祉などさまざまな活動を展開しており、高齢者や女性、後継者の活動の場づくりを積極的に進めています。

どんな活動があるのか

くらしの活動の内容には、正解も不正解もありません。人の思いの数だけ展開できる活動があります。

現在は、幼児を対象とした食育出前授業や小学生を対象とした農業体験スクール、子育て事業、高齢者の生きがいづくりなど、食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合として、活動を展開しています。その他にも、健康体操の実施や趣味講習会、女性部の活動支援として、次の世代に伝統的な食文化の素晴らしさを繋いでいくための郷土料理講習会など、くらしの活動は仲間とともに意見を出し合い、語り合いながら作り上げていくのです。



JAいわて花巻くらしの活動

JA事業

食と農を守る活動

安全・安心な農畜産物の消費拡大と子どもたちへ「食」と「農」の大切さを伝える活動。



- ◆ちゃぐりんスクール
- ◆地産地消活動
- ◆食育リーダー「花巻まんまーず」
- ◆グリーン・ツーリズム
- ◆農業学習体験 など



生活文化活動

環境や健康など自主的にテーマを設定し、地域の活性化や生活文化の向上を図る活動。



- ◆家の光記事活用グループ
- ◆支店協同活動
- ◆子育て支援「わいわい子育てフリースペース」
- ◆ふれあいプラン
- ◆農業まつり など



健康福祉活動

「運動」「食事」「検診・介護・医療」を中心とした生活習慣の改善や健康の維持・増進を図り心の充実や、元気高齢者の生きがいづくりに取り組む活動。



- ◆人間ドック受診促進
- ◆健康寿命100歳プロジェクト
- ◆ウォーキング教室
- ◆認知症予防
- ◆ふれあい食事会 など



相談活動

- ◆信用
- ◆共済
- ◆営農
- ◆生活
- ◆介護福祉
- ◆葬祭 など

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現

「くらしの活動」の重要性

現在の農業や農村を取り巻く情勢を確認し、そこから見えてくる目指すべき未来に向けて「くらしの活動」を実践しよう！

現状① 人口減少や高齢化

人口減少の本格化や少子・高齢化の進行といった時代の大きな流れの中で、農業・農村を取り巻く情勢は大きく変化している。

安心して暮らせる豊かな地域づくりに取り組み、ここで生きていきたいと思える地域にする。

現状② 農業集落の衰退

農業従事者の減少や高齢化が進展する中で、集落における生活や農業生産活動、農村地域の協同活動の継続が困難となっている。

これまで築きあげてきた農村や伝統文化を守り、次世代に繋げる。安定した農業経営や魅力あるJA総合事業の展開のほか、新たな利用者や理解者となる農業やJAのファン、仲間づくりを強化する。

くらしの

活動大会

明日から始めてみよう

J Aは7月11日、J A総合営農指導拠点センター（花巻市野田）で「くらしの活動大会および農家組合生活部長研修」を開きました。

花巻・北上・西和賀・遠野の各地域から組合員や役員など約340人が集まり、くらしの活動について理解を深めました。（二社）家の光協会が募集している家の光家計簿などを用いた体験文で入選した伊藤美恵子さんや女性部の菊池貴美子さん、青年部の大堰巧太さんが活動実践発表を行ったほか、行政書士の佐山和弘さんと岩手県家の光講師の佐藤淳子さんが講演をしました。

また、会場には支店での取り組みを紹介する支店だよりの展示や、女性部花巻地域支部のコンテナガーデン講習会で作った寄せ植えの展示などを行いました。

会場の全てが、人と人が繋がりをもつて生み出し、広がりを見せた活動です。この大会は、活動を展開していく上で参考となるヒントや活力で溢れていました。参加者は、仲間や地域と共に活動していくことの素晴らしさを実感したことでしよう。

小さな活動でも明日から始められることがたくさんあります。心に浮かんだ思いを行動に移し活動を展開していくことで、さまざまな工夫やアイデアが生み出されます。その活動や思いを心に秘めたままにせず、広く発信し、次世代や他地域の方々に繋いでください。ひとつの活動やひとつの思いが周囲に新たなきっかけを与えます。それが広がることで、地域のあるべき姿を確立し未来に繋がることでしょう。

組合員と地域と共に歩む

J Aは組合員一人一人の課題を、協同の力で解決していく組織です。J Aは支店を拠点として活動を展開し、組合員や地域住民が抱えるさまざまな問題に向き合い、共に歩みながら解決していきます。豊かな地域農業を次世代に伝え残していくために、繋がりを大切に、地域の明るい未来に向けて共にくらしの活動を展開していきましょう。



実践発表1

家計簿を簡単に！



伊藤美恵子

家計簿というものを最後まで記帳した経験のない私が1年間継続して記帳することができたのは、女性部の役員を引き受け平成27年から「家の光」を購入したお陰かなと振り返っています。

平成29年に家の光協会の講演で、その週のレシートをまとめて家計簿のメモ欄に添付する方法と、その日の支出合計だけはきちんとレシートの添付の下に記入しておく、週と月の支出合計に繋ぎやすいという研修を受けたからです。

しかし、この記帳方法では、レシートを添付すると家計簿が厚くなります。そこで私は、メモ欄その日の支出内容と支出合計を記すだけにしてレシート添付は記帳できないときのみに変えてみました。家計簿支出項目は、ほとんど空白になりますが、自分の書きたい項目だけ記入する気持ちはとても良いものです。

今回楽しんで家計簿記帳に取り組めたのは女性部研修に参加できた賜物と感謝しています。若いときには女性部の良さを考えることもなく参加していたのが、今は改めて良い活動をし続けるすばらしい組織であると認識し、いろいろな事業に参加しています。今回の記帳を例にしても、研修で学んだことを基礎に女性部員だけでなく、地域の方々にも周知した活動を広げていけたら良いと思います。

実践発表2

てのひらはみんなのために



菊池貴美子

私は、25歳で兼業農家に嫁ぎ、義理の姉から誘われ農協婦人部若妻会に入りました。同世代の部員が集まり、親子でのジャガイモ植え、農業祭の出店、収穫祭とたくさん行事をしていました。

合併に伴い女性部として活動を行い、歳を重ね支部長となりリーダー研修会などに参加するようになりました。その研修の中で6次産業化のテーマを取り上げ、「工房がなくとも企業とコラボして物を作りませんか」というお話を聞き、J Aのイベントで知り合ったお母さんたち4人と「福の手プロジェクト」を立ち上げました。

私たちは共に米農家で、お米をなんとか流通したいと思い、ポン菓子業者とコラボしました。四角い形にノンフライ、無添加にこだわり「うまいポン」と名づけ商品化。右も左も分らないまま6次産業化に取り組みましたが、企業と手を組んで自家生産物を商品化することは誰にでも出来ます。女性部だからこそ農産物に携わる女性の目線で商品を作ることができると思います。

女性部のリーダーとなり、さまざまな研修会に参加して意識を高めることができました。私はこの体験を広め、一緒に活動していく仲間を増やして、みんなの未来のためにこの手を使い、みんなの笑顔のためにこの手を繋ぎたいと思います。

実践発表3

5年間の農業で思うこと



大堰 巧太

私は農業のことがまだ分かりません。農業高校にも農業大学校にも通ったわけではありません。でもこれから農業を担っていく者として、J Aや地域の活動に積極的に参加し、将来的に農業を続けていく方法を模索しています。

私は西和賀町で主にリンドウを家族とともに栽培していますが、農業に対して思うことがあります。それは、ただ西和賀リンドウを作るだけの生産者になってはダメだということです。西和賀花卉生産組合青年支部長になり、役員会や他産地への研修に足を運び生産者ももっと積極的にマーケティング活動に関わる必要があると思いました。生産者自ら情報発信することで「西和賀リンドウ」から「大堰さんが栽培した西和賀リンドウ」に変わるのではないのでしょうか。

これからはSNSを活用し産地の情報を発信することで、消費者との距離が縮まり、リンドウを使ったイベントなど可能性が大きく広がります。将来を考えたとき、今までは違った新しい行動や提案を私たちが若者が積極的に行うことが大事だと思います。近年、日本人の生活から遠ざかっている「花」がもっと身近になり心の癒やしになればいいと思います。そのために、新しいことに挑戦しながら美しい西和賀リンドウを私は育てていきます。

終活！
～相続知識とエンディングノートの活用～



行政書士 佐山和弘さん



自身が体験した相続問題や遺言書の大切さを参加者に訴えました。参加者は、遺言書にまつわるマルバツクイズなどに挑戦し理解を深めました。また、遺言書は長生きするために書くということ学びました。

元気・長生き・健康体操！

岩手県家の光講師 佐藤淳子さん



日常生活から、簡単にできる健康運動を軽妙なトークを交え教えました。参加者全員がひとつとなり、曲に合わせて「ついていけない」「きつい」などと話しながら笑顔で体を動かしました。



受賞した伊藤美恵子さん



支店だより(上)と寄せ植え(下)の展示



笑顔溢れる会場



「助け合いの心」ひとつに おおつち子ども食堂に食料品を寄贈



食料品を受け取り、喜ぶ子どもたち

J Aは7月4日、大槌町の「おおつち子ども食堂」にエコープマーク品やJ A商品、調味料、菓子などの食料品を寄贈しました。

この活動は、国際協同組合デーに合わせてJ Aいわてグループが実施した統一活動の一環。6月中旬から大槌支店や母ちゃんハウスだあすこ沿岸店で職員や利用者から食料品を募ったほか、鶴住居支店や釜石支店、本店の職員からも募集しました。

同食堂を運営するおおつち子ども食堂有志の会の東梅麻奈美代表は「折り紙も贈っていただき、子どもたちを思い準備したことを感じた。食料品は大切に使いたい」と感謝しました。

パーティーで交流深める 花巻商工会議所青年部と共にイベント開催

花巻商工会議所青年部とJ Aは7月21日、花巻市内の温泉で「プレミアムパーティー2019」を開きました。

J Aの婚活登録者や組合員、同市に在住・勤務している20代〜40代の男女42人が参加。自己紹介や花巻に関するクイズなどを通して打ち解けたあと、5グループに分かれてトークで和気あいあいと交流を深めたほか、ランチを一緒に楽しみました。フリータイムもあり、参加者たちはさらに距離を縮めました。

参加者からは「たくさんの方と話すことができ、楽しい時間を過ごせた」「スタッフのフォローがあり助かった」という声が聞かれました。



フリータイムで、自己紹介をしつつ交流を深める参加者たち

おいしいブルーベリーに夢中 大迫町山口集落「ブルーベリー収穫祭」

花巻市大迫町の山口集落は7月12日、花巻市立亀ヶ森保育園の園児を招き、ブルーベリーのは場で収穫祭を開きました。

3〜5歳児9人が参加。雨のなか園児たちは、「この実はまだだよ」と声をかけあいながら、背丈ほどの木から食べごろの実を探して収穫しました。収穫後には笑顔を見せて実を頬張り、「甘い」「おいしい」とブルーベリーを味わいました。また、雨の影響で長い時間収穫体験を行えなかったため、事前に集落の住民や花巻市大迫総合支所の清水正浩支所長たちが摘み取りを行い、園児にプレゼントしました。

この収穫祭は10年以上続けられている企画。集落の高畑政博代表は「ブルーベリー収穫祭が恒例化している。園児のためにも、自然と触れ合うこの活動を継続していきたい」と話しました。



雨の中ブルーベリーを収穫する園児

警察署長感謝状を受賞 北上統括部と大槌支店



感謝状を受け取る北上統括部の小原保信部長(北上)



感謝状を受け取る東部地区営農センターの佐藤竹彦センター長(大槌)

北上統括部は7月1日、北上警察署の奥野淳署長から、大槌支店は17日、釜石警察署の仲谷千春署長から警察署長感謝状を受け取りました。

北上統括部は10年以上前から、毎年6月に反射材ストラップを北上警察署地域交通安全活動推進委員連絡協議会に贈呈。今年度は反射材ストラップと反射材シール合わせて1500個を贈呈し、今後も贈呈する予定です。

大槌支店は10年以上前から、年に4回ほど交通安全立哨活動を実施。のぼり旗などを持ちドライバーに安全運転への注意喚起を促しています。地域の交通事故低減を目指し、今後も継続する予定です。

組合員とのふれあい大切に 組合員のつどい「コロケふれあい歌謡ショー」

J Aは7月4日、北上市文化交流センターさくらホールで組合員のつどい「コロケふれあい歌謡ショー」を開きました。

昼と夜の2回公演を行い、昼の部1161人、夜の部1044人と多くのお客様が来場しました。

コロケさんのものまねレパートリーは300種類以上あり、その中から今回は代表的な「美川憲一」や「五木ロケット」のほか、早着替えのものまねショーやダンスパフォーマンスなど全25曲を披露しました。ショーの途中には、歌いながら客席に降りて、来場者と握手をしてまわるなど、来場者を魅しました。



さまざまなものまねを披露したコロケさん

ゲートボール大会で健康増進と交流を 年金受給者友の会



花巻地域の大会で優勝した谷内チーム

J Aは6月と7月、各地域の年金受給者友の会のゲートボール大会を開きました。

7月2日には、北上市和賀町の多目的催事場で花巻地域の大会を開催。16チーム、118人が参加し、各チームが手に汗握る熱戦を繰り広げました。優勝は谷内チーム(東和町)、準優勝には好地チーム(石鳥谷)が輝きました。

上位の花巻地域2チームと北上地域の二子Aチーム(二子)、西和賀地域の槻沢チーム(湯田)、遠野地域の釜石はまゆりチーム(釜石)と土淵チーム(遠野)の計6チームは、9月に開かれる「J Aバンク岩手第34回ゲートボール大会」に出場します。

畜産

共励会と共進会を開催！ 最優秀賞・名誉賞に輝く！

◆第3回花巻農協肥育部会枝肉共励会

肥育部会は7月25日、東京都の東京食肉市場(株)で「第3回花巻農協肥育部会枝肉共励会」を開催しました。

去勢、雌の黒毛和種合わせて30頭が出品。審査の結果、上物率は93.3%、最優秀賞には北上市の高橋雄孝さんの出品牛(去勢・生体重750kg・枝肉重量506kg)が選ばれました。造りや光沢、バランスの良い点が評価されました。

【最優秀賞】高橋雄孝さん(北上市)

【優秀賞】杉沢健友さん(北上市)、高橋信一さん(北上市)、阿部久穂さん(花巻市)

【優良賞】(株)西部開発農産(北上市)、(株)高田畜産(北上市)、清水伸さん(花巻市)

◆遠野地方和牛共進会

遠野地方和牛改良組合は7月23日、旧遠野家畜市場(遠野市松崎町)で遠野地方和牛共進会を開催しました。

繁殖牛が15頭出品し、5区分で審査。各区1等賞の中から、一番優れている牛に贈られる名誉賞を選びました。名誉賞に、未経産の部で同市宮守町の佐々木光男さんの「みずき号」、経産の部は同市小友町の小松正博さんの「やすかつ号」が輝きました。

【第1区(後継者の部)】小松 志穂さん(小友町)

【第2区(若雌の部1)】大里 達矢さん(松崎町)

【第3区(若雌の部2)】佐々木光男さん(宮守町)

【第4区(経産の部1)】石橋 耕一さん(青笹町)

【第5区(経産の部2)】小松 正博さん(小友町)

営農振興

農業就労お試し 農作業体験会を開催

JAや花巻市などで構成する花巻市農業振興対策本部園芸振興部会と、JAが求人者と求職者の紹介やサポートを行う無料職業紹介所「アグリワーク」は7月2日、農作業体験会を初めて開きました。

同体験会は、農業で働きたい農業未経験者への就労体験を目的に開き、約40人が参加。農業組合法人HHA泉畑の戸来邦次代表が作業の内容やポイントなどを説明しました。参加者は、同法人の圃場でピーマンを収穫したほか戸来代表の所有するリンゴ圃場でリンゴの摘果を体験し、実際の農作業体験を通じて農作業への理解を深めました。体験後は、「アグリワーク」の事業説明会と求職者の個別相談会を行いました。

参加した堤昭子さん(60)は「5年前に東京から岩手に戻り、今回初めて農作業を体験した。どのように農作業するのが分かり、東京ではできない貴重な体験をととても楽しくできた」と笑顔を見せました。

「アグリワーク」の高橋徹所長は「今回の体験会をきっかけに農業で働きたい方をたくさん農家へ紹介できるようにしたい」と話しました。



園芸

最盛期に向けて出荷留意点を確認

JAは7月、花巻市で早生種と中生種の「リンドウ出荷目揃会」と北上市で「小菊出荷打ち合わせ会」を開きました。生産者や県職員、JA職員が一丸となり本格的な出荷に向けて意識統一をしました。

◆早生種・中生種 リンドウ出荷目揃会

花巻地域花き生産部会りんどう専門部は7月17日、石鳥谷東支店(花巻市石鳥谷町)で早生種と中生種のリンドウ目揃会を開きました。



部員や県職員、JA職員など34人が参加。JA職員が草姿や花型、花色などの出荷規格について説明しました。過度な水揚げは葉の黄化や傷みに繋がることから、収穫や調整時の水揚げについても注意するよう参加者に呼び掛けました。

今年度の生育状況は、病害虫が比較的少なく、段数がとれています。7.6haで栽培しており、出荷量129万1,810本、販売額6,600万円を目指します。最盛期は8月上旬です。

◆北上地域小菊専門部出荷打ち合わせ会

北上地域花卉生産部会小菊専門部は7月10日、和賀町花き集出荷場(北上市和賀町)で出荷打ち合わせ会を開きました。



部員や市場関係者など44人が参加。JA職員が花色や茎葉などの出荷規格や出荷の留意点について呼び掛けました。小菊の目揃いでは、部員や市場関係者などで品質を確認しました。

今年度は、生産者の努力によりお盆向けの品種を多く定植することができたため、昨年度よりも出荷量の増加が見込まれます。約15haで栽培し、出荷量277万8,000本、販売額1億円を目指します。最盛期は7月下旬から8月上旬です。

米穀

マイスター栽培研修会

岩手県広域振興局は7月8日、花巻市と北上市で県オリジナル水稲品種「銀河のしずく」生産者マイスター栽培技術研修会を開きました。

生産者やJA職員、関係機関など51人が参加。花巻市の農事組合法人なべくらの圃場では、県中部農業改良普及センターの斎藤真理子主査農業普及員が今後の管理について呼びかけ、花巻地域銀河のしずく栽培研究会長で同法人の高橋春雄代表は、圃場の生育状況や使用する肥料、法人の経営品目や面積などを説明しました。

北上市の県農業研究センターでは、コスト低減として注目されている水稲高密度播種苗移植栽培体系の確立について説明。参加者たちは、品質や食味向上に向けて情報共有をしました。



園芸

西和賀花卉出荷大会を開催



JAと西和賀花卉生産組合は7月19日、西和賀地域営農センター農産物集出荷場(西和賀町沢内)で「西和賀花卉出荷大会」を開きました。

生産者やJA職員、市場関係者など約100人が参加。リンドウを中心とした、販売目標額を前年並みの2億8,600万円と決めました。生産者とJA、市場関係者が団結して産地を盛り上げていくことを確認しました。

今年も全国の皆さんに西和賀リンドウを見て楽しんでいただきたい。そのためには、生産者が一体となり出荷まで気を抜かず精一杯頑張ろう！
西和賀花卉生産組合
高橋文昭 組合長



各グリーンセンター定休日

8・9月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。
※右記のほかに、8月31日(土)(大迫は30日(金))が第2四半期決算棚卸しのため休業します。

	定休日	営業時間	お盆期間中の臨時営業時間
花巻	8/24(土)/9/15(日)/9/28(土)	平日…8:30~17:30/土・日・祝日…8:30~17:00	14(水)・15(木)…8:30~17:00/16(金)…8:30~15:00
石鳥谷	8/10(土)/9/14(土)	8:00~17:30	16(金)…8:00~15:00
大迫	土・日・祝日	8:30~17:00	
東和	8/17(土)/9/21(土)	8:30~18:00	14(水)・15(木)…8:30~17:00
北上	8/25(日)/9/8(日)	平日…8:30~18:00	16(金)…8:30~15:00
西和賀	8/13(火)/9/8(日)/9/23(月)	土・日・祝日…8:30~17:00	
遠野	8/15(木)/9/11(水)	8:30~18:00	14(水)・16(金)…8:30~15:00

●お問い合わせ先：営農部生産資材課 ☎0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

旬の産直大百科



JA直売所キャラバン

農林中央金庫と(株)NHKプロモーションは、JA直売所のPRを通じて国産農畜産物の消費拡大を促すために連携し、全国47都道府県のJA直売所を訪問してクッキングステージなどを披露する「JAバンク×みんなのきょうの料理健康キッチン～JA直売所キャラバン～」を平成28年8月より開催しています。

このイベントのキャラバンカーが7月27日、農産物直売所「母ちゃんハウスだあすこ」を訪れ、34回目のクッキングステージを開きました。料理研究家の脇雅世さんが旬のピーマンを使い、「ピーマンの香味煮」と「花巻黒ぶどう牛のうまみトマトソース」を調理し、来場者に「ピーマンの香味煮」を振る舞いました。

■スペシャルトークステージ



料理研究家の脇雅世さんとミニトマト生産者の菅野勉さんによるスペシャルトークステージが行われました。菅野さんは「消費者が手にとって喜んでくれる顔を見たらうれしくなり、また頑張ろうと気合が入る」と話し、脇さんは「鮮度の良いものを生産者自らが直接運び、名前なども書いているため安心できる」と笑顔で話しました。

JAバンクからは、金融部金融推進課の島山聡子職員が「よりぞう」とともにJAカードについて説明しました。



がんばる青年部

地域貢献と地域交流を 盟友が一致団結して廃プラ回収

青年部は、地域貢献と環境を守る活動の一環として、使用済みの農業用プラスチックやビニールの回収に毎年取り組んでいます。

今年度は6月29日と7月6日に北上地域で、7月13日と20日に花巻地域で行いました。そのうち、中央カントリーエレベーター(花巻市鍋倉)には花巻や湯口、太田、笹間の各支部から約30人の盟友が集結。地域の組合員や生産者など約120人から持ち込まれた育苗箱や肥料袋、農薬容器、マルチシートなどを



持ち込まれた育苗箱を協力して降ろす盟友たち

種類に応じて業者指定の回収袋に手際よく詰め込みました。一時は

荷降ろしを待つ車両がずらりと中央カントリーエレベーターの周囲に並びましたが、気温30度に迫る暑い中、盟友たちが協力して作業を行い、スムーズに回収が進みました。



約11tの廃プラを回収

花巻地域青年部笹間支部の高橋清孝支部長は「廃プラ回収は、青年部の柱とも言える活動。作業をしながら他支部の盟友と交流を図れるほか、地域の生産者の顔を知りコミュニケーションをとることもできる」と活動の意義を話しました。

ぼらーの広場

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。

今月のテーマ 子どもの頃の夏の思い出

投稿を頂いた方の中から抽選で、今月は「西和賀りんどう」をプレゼント!

初めてのデートは高校生の夏。暑さと緊張で手汗が気になり、手を繋ぎたいけれど繋げない甘酸っぱい青春の思い出です。(北上市・ゆりゆりママ)

家の中には誰もいないのに、台所から寢床の方に白い着物を着た人が通りすぎたことを思い出します。(北上市・ニャンコもち)

父が蚊帳を吊るす際にうれしくてまわりつき叱られたものです。蚊帳の上にホテルを放ちその光を見て眠りました。(北上市・ドリップコーヒー)

小学校の夏休み中、校庭にテントを張り、全校児童でキャンプをしたこと。みんなで作ったカレーは絶品でした。(遠野市・るんるん)

豊沢川で泳いだことです。大きな石から飛び降りたり、浮き輪に座り流れたり。平和な時代でした。(花巻市・マロンの母)

お昼頃、チリンチリンと鈴を鳴らしてアイスキャンディー屋さんが来るのが楽しみでした。60年も前の夏の思い出です。(遠野市・おかめんこ)

来月のテーマ(10月号掲載)「忘れられない出会い」応募締切/9月10日(火)消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。これまでの人生で忘れられない出会いとそれに関するエピソードを教えてください。

応募方法: ①テーマにちなんだお話②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。右記のQRコードからのご応募もできます。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。

●はがき: 〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻組織広報課「ぼらーの広場」宛

●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5名様にプレゼント!
二子さといも

JAいわて花巻 応募フォーム
<https://www.jahanamaki.or.jp/entry/index.php>

変わるJA 広がる地域のきずな

監修=広島大学 助教 小林元

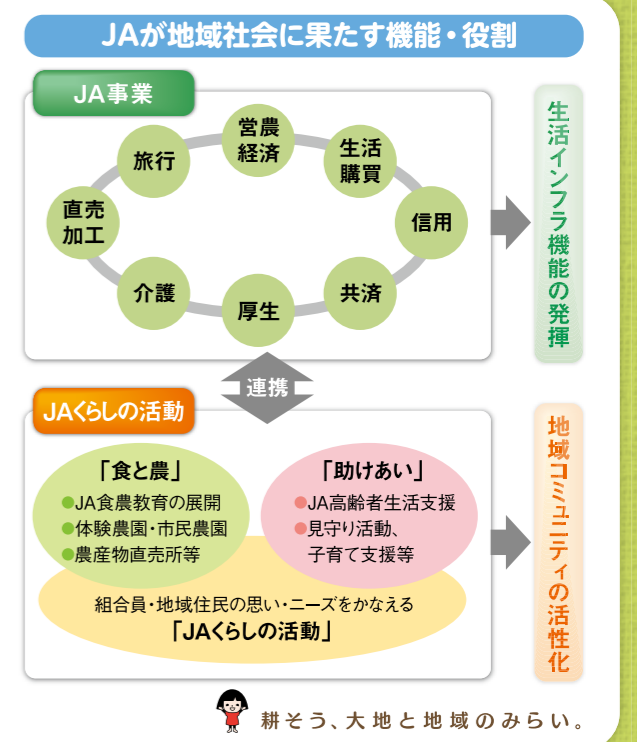
Q、JAは地域にとってどんな存在なの?

A、地域の食やインフラ機能を支え、地域を元気にします。

協同組合は組合員自らが、くらしや生業(なりわい)の願いやニーズを共有して、事業を運営しています。JAは、営農・経済事業(生産資材の共同購入や生産物の共同販売)を通じて、組合員である農業者の所得の向上や農業生産の拡大を進めています。また、くらしの願いやニーズに対応した信用、共済、生活購買、厚生(医療)、旅行、介護などさまざまな事業を行っています。

そして「JA健康寿命100歳プロジェクト」などを通じて高齢者福祉活動を展開、食農教育や組合員・地域住民の交流活動、直売所の運営などにも取り組んでいます。これらの取り組みは、組合員の願いやニーズを叶えると共に、食と農を通じて地域を豊かに、そして元気にする取り組みです。

JAは、地域に根ざした協同組合として、組合員だけでなく地域住民が必要とするくらしに関わる事業を総合的に提供しています。JAは、地域になくはならない協同組合として、地域を支えるインフラ機能を発揮しているのです。



JA職員を募集します

令和2年4月に採用する職員の採用試験を行います。詳細は次のとおりです。また、採用試験の実施にあたり、JAいわて花巻の事業概要・業務内容などに関しましては、当JAホームページをご覧ください。

職種	採用予定人数	応募資格	受付期間
総合職	2名程度	大学院、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、職業能力開発校を令和2年3月卒業予定者	令和元年8月1日(木)～9月10日(火) 必着
	5名程度	高等学校を令和2年3月卒業予定者	令和元年9月5日(木)～9月10日(火) 必着 ※学校推薦
専門職(営農)	2名程度	大学院、大学、短期大学、農業大学校を令和2年3月卒業予定者	令和元年8月1日(木)～9月10日(火) 必着

◎試験日 筆記試験：令和元年9月20日(金)
面接試験：令和元年9月30日(月)



※応募方法：JAのホームページをご確認ください。 <https://www.jahanamaki.or.jp>
※お問い合わせ：総務部人事課 TEL：0198-22-6266(直通) FAX：0198-24-9178
Eメール：zinzi@jahanamaki.or.jp

北上地域 野菜・花き

新規栽培説明会・ほ場見学会

～新たに栽培を検討されている方への説明会を開催します～

①施設栽培：8月28日(水)
…ピーマン・ミニトマト
午後1時20分～午後4時20分
※受付開始：午後1時～

②露地栽培：8月30日(金)
…アスパラガス・ねぎ・小菊
午後1時20分～午後3時40分

●場所 北上地域営農センター野菜集出荷場南駐車場(北上市流通センター19-33)
※説明終了後、生産者ほ場・ハウス見学に向かいます。

●内容 生産者ほ場・ハウス見学、質疑応答、簡易相談など

●対象 上記品目の栽培に興味があり、出荷(系統出荷)を目的としている方

●お申込み期限 **8月26日(月)**

●お申込み・お問い合わせ 北上地域営農センター 園芸販売課 ☎0197-71-1333

※「役員室より」はお休みです。

岩手県農業研究センター 参観デー

最新の研究成果展示や役立つミニセミナーをはじめ、子ども収穫体験、農産物・加工品の販売など盛りだくさんのイベントをご用意して、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

- 日時 9月7日(土) 午前9時30分～午後3時
- 場所 岩手県農業研究センター(北上市成田20-1)
- 入場料 無料
- 内容 研究成果展示、役立つミニセミナー、農業技術相談、子ども収穫体験(小学生以下)、リンゴ釣り、いきものコーナー、農産物や加工品、農業用資材の販売など
- ◎もちまき：午後2時30分～
- ※当日の気象条件などにより、一部イベントが変更・中止となる場合があります。
- 同時開催 岩手生物工学研究センター公開デー
- お問い合わせ 岩手県農業研究センター ☎0197-68-2331

花巻葬祭センター 人形・ぬいぐるみ供養祭

いつも一緒だった人形やぬいぐるみがお家の片隅にありませんか？なかなか捨てられない方は、ぜひお持ちください。みんなで供養いたしましょう。

- 日時 9月8日(日) 午前11時～
- 場所 花巻葬祭センター(花巻市豊沢町8-8)
- 人形・ぬいぐるみ受付 9月7日(土) 午前9時～午後4時
9月8日(日) 午前9時～午前10時30分
※ガラス製、陶器などの人形、ガラスケースは受付できません
- 供養料 500円
※供養料は介護福祉事業に寄付いたします。
- お問い合わせ 花巻葬祭センター ☎0198-22-4382 ☎0120-910-982

令和元年度「新農業人フェアinいわて」

新規就農相談会を開催！新たに農業を職業、職場として選択しようと考えている方々に就農に関する情報を提供します。(入場無料)

- 日時 8月24日(土) 午前10時30分～午後3時30分
- 場所 いわて県民情報交流センター「アイーナ」 8階 804会議室(盛岡市盛岡駅前西通1丁目7-1)
- 参加対象者
 - ・独立・自営就農を希望している方
 - ・農業法人へ就業・研修を希望している方
 - ・農業体験を希望している方
 - ・農業・農村に興味・関心をお持ちの方
 - ・Uターンを希望している方
- 相談内容
 - ①就農地域の紹介 ②独立・自営就農に向けた研修 ③農業法人への就業・研修 ④農業技術・経営技術の習得 ⑤農地の確保 ⑥資金の調達 ⑦農業次世代人材投資事業 ⑧その他就農・就業に必要なこと
- お問い合わせ (公社)岩手県農業公社 就農支援部就農支援課 ☎019-623-9390

特殊詐欺にご注意を!!

近頃、キャッシュカードをだまし取られる特殊詐欺が発生しています。ご注意ください!

～キャッシュカードだまし取り詐欺の手口例～

- 市職員を名乗る男から「高齢者の保険料が安くなり差額が振り込まれる」と金融機関の口座を尋ねる電話がくる。
- 口座をJAと伝えると、間もなくJA職員を名乗る男から電話があり、キャッシュカード番号を聞かれる。
- ②のカードと新たに伝えた他金融機関のカードも古いと言われ、再発行のためJA職員を自宅に向かわせると話される。その際に暗証番号も聞かれる。
- 自宅に訪れたJA職員を名乗る若い男にカードを手渡す。
- 盗んだカードで現金を引き出す。

JA職員や警察官がキャッシュカードを受け取り、暗証番号を聞き出すことは**絶対にありません!**
このような電話や訪問があった場合には個人情報などを教えず、すぐに警察かJAまでご相談をお願いします。

初めて会う人、話す人にはどんな理由でも絶対にお金、キャッシュカードを渡さない! カードの暗証番号は教えない!

●理事会だより

次の議案について審議され、全議案議決されました。
第7回理事会 開催日：7月29日(月)

■決議事項

第1号議案 総代選挙期日の通知及び揭示すべき事項の決定について

第2号議案 総代選挙に伴う選挙管理者等及び選挙立会人等の決定について

●監事会だより

次の事項について協議されました。
第6回監事会 開催日：7月29日(月)

■協議事項

(1) 令和元年度(平成31年度)上半期決算監査の実施について

私が先生 あなたも先生

Point!

豚バラ薄切り肉は、
チーズが漏れないように
きっちりと巻くのがポイント。
この季節にたくさん採れるピーマン、
弁当のおかずやお好みで
七味唐辛子を振って
お酒のつまみに最適です!



今月の先生

昆野 裕子さん

遠野市小友町在住。得意料理は山菜料理と母の味を受け継ぐ煮しめ。山菜料理や伝統料理を中心に、料理全般を指導している。女性部とおのつば地域支部長を務めている。



チーズたっぷり ピーマンの肉巻き

材 料 (4人分)

- ピーマン 6個
- しょう油 大さじ2
- 豚バラ薄切り肉 600g
- 酒 大さじ2
- ピザ用チーズ 200g
- 塩・こしょう 少々
- サラダ油 大さじ1
- トマト・レタス 適量
- みりん 大さじ2

作り方

- 1 ピーマンを縦半分に切り、ヘタと種を取る。
- 2 ①のピーマンにピザ用チーズを詰めて豚バラ薄切り肉を巻き、塩・こしょうをふる。
- 3 フライパンでサラダ油を熱し、②を中火で焼く。
- 4 豚バラ薄切り肉に焼き色が付いたら裏返し、蓋をしてさらに3分ほど焼く。
- 5 ④に火が通ったらみりん、しょう油、酒を入れて煮詰める。
- 6 皿に盛り付け、トマトとレタスを添える。

あなたも先生になりませんか?

JAでは、「生活福祉活動リーダー」を随時募集しております。あなたの知識や技術を地域の方々に伝えてみませんか? 詳しくは、お問い合わせください。

●お問い合わせ 企画部組織広報課
☎0198-29-4011

「生活福祉活動リーダー」とは?

JAでは、生活の知恵や伝承技術、芸術文化活動や健康増進に関わる活動の指導などを行っている方を「生活福祉活動リーダー」として委嘱しています。「生活福祉活動リーダー」には料理のほか、家庭菜園や体操、レクリエーション、生け花など幅広い知識・技術を持った約110人が登録。研修会や講習会などで講師を務めています。農家組合や青年部、女性部などの組合員組織が「生活福祉活動リーダー」を活用して研修などを行う場合、講師料はJAが負担し、皆さまの地域のくらしの活動をサポートします。

夏支店で行っている、ふれあいプラン。私も地元支店の夏まつりに参加してきた。普段は本店勤務のため、地域の方々と交流する機会がなかなか無いが、それでも声を掛けていただいた。久々に会った方、お世話になった方。時には、「広報誌見ているよ」の声も。その一言が励みになる。多くのエネルギーをもらった夏の夜だった。

「佐藤」

本格的な夏がやってきまして、汗がでてくる日々。暑いなかでも、働く農家さんには感謝しかありません。祖父母の家に行くたびに、野菜をもらい食べる専門なのですが、今年こそは、草むしりなど何かお手伝いしようと思います。みなさん、夏の暑さに負けずに頑張りましょう!

「木村」

取材先に足を運ぶ機会が以前より増え、さまざまな人の思いに触れる機会が多くなりました。その中で自分自身の物の見方や感じ方が少し変化しているように思います。ただ情報を発信するだけではなく受け手の何かきっかけになるような情報を発信できるように模索しながらも頑張っています!

「安達」



編集後記

From Editor's